

〈授業改善推進プラン 令和4年度第6学年 理科〉

<p>1. 「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験に対する意欲はあるが、その過程を意識した取り組み方に課題がある。 ・学力調査の結果において、昨年度が60点、今年度が70点ということから、基礎学力は向上している。しかし、その反面「主体的に学習に取り組む態度」に課題がある。 			
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和2年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうしたらこうなるという原因から結果までの関係を、黒板で視覚化して整理しておき、常に意識しながら実験を組み立てられるようにする。また、実験技能の基本をカードやワークシート等を活用して丁寧に指導する。 ・予想や考察などを文章で記述する機会を増やし、慣れさせる。 <p>(2) 今年度実践している「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度と同様に、問題提起から予想、結果、その原因について整理した内容を黒板に視覚化することにより、常にその過程を意識できるようにする。 ・年々「主体的に学習に取り組む態度」に課題が見られるようになってきたため、実験内容を充実させ、改めて児童の興味・関心を高める。 			
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><方策></p> <p>①どの実験でも過程を視覚化することで、意識すべきことの定着を図る。</p> <p>②実験内容を充実させることで、児童の興味・関心を高める。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><検証方法></p> <p>①毎授業のノートを確認し、実験中の動きや声掛けにも注目する。</p> <p>②実験の考察や、振り返り方を注視する。</p> </td> </tr> </table>		<p><方策></p> <p>①どの実験でも過程を視覚化することで、意識すべきことの定着を図る。</p> <p>②実験内容を充実させることで、児童の興味・関心を高める。</p>	<p><検証方法></p> <p>①毎授業のノートを確認し、実験中の動きや声掛けにも注目する。</p> <p>②実験の考察や、振り返り方を注視する。</p>
<p><方策></p> <p>①どの実験でも過程を視覚化することで、意識すべきことの定着を図る。</p> <p>②実験内容を充実させることで、児童の興味・関心を高める。</p>	<p><検証方法></p> <p>①毎授業のノートを確認し、実験中の動きや声掛けにも注目する。</p> <p>②実験の考察や、振り返り方を注視する。</p>		
<p>4. 検証結果(成果と課題) <u>【年度末に記入する】</u></p> <p><成果></p> <p><課題></p>	<p>5. 令和5年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項 <u>【年度末に記入する】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 		
<p>6. 令和5年度(次学年)末に期待する児童(生徒)の姿 <u>【年度末に記入する】</u></p>			

〈授業改善推進プラン 令和4年度第6学年 家庭科〉

1. 「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題

令和4年度1学期授業評価アンケートでは、「家庭科の授業が好きか」という項目に関して、4名中4名が「はい」と答え、「学習したことを理解しているか」という項目に関しては、4名中3名が「はい」と答え、1名が「どちらかというとはい」と答えている。以上の調査や授業観察の結果から、授業への興味・関心は高く意欲的であることが分かる。しかしながら、実習や実験などの実践的で体験的な題材以外の興味関心が低く、基礎的な知識の定着に課題が見られる。

2. 課題改善に向けた取組状況

(1) 令和2年度授業改善推進プラン記載内容

・該当項目なし。

(2) 今年度実践している「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等

- ・実習やICT機器を活用し、実際にイメージをもって、内容の理解を深められるような授業を展開する。また、自身の製作過程を記録として残し、自身の生活に結び付けて考えを深めさせる。
- ・児童が自ら考えたり、実践して取り組めたりするような教材や実物等の教具を用いた授業を展開し、意欲を高める。

3. 課題の改善に向けた方策と検証方法

<方策>

- ①年間2回の授業評価アンケートの実施
- ②児童の理解度に合わせて、個に応じた支援を行う

<検証方法>

- ①年間2回の授業評価アンケートの実施内容分析
- ②ワークシート、課題、単元テスト

4. 検証結果(成果と課題) 【年度末に記入する】

<成果>

<課題>

5. 令和5年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項【年度末に記入する】

・

・

6. 令和5年度(次学年)末に期待する児童(生徒)の姿【年度末に記入する】

